

# 科学技術の潮流

JST 研究開発戦略センター

(186)

## チャットGPT

オープンAIから公開されたチャットGPTのアクティブユーザー数が、史上最速2カ月で1億人を超えたという。対話という分かりやすいインターフェースで、多種多様な質問・指示に対して、まるで専門家のような回答を返してくれる。しかも特定分野に限らずあらゆる分野の知識を持っているように見える。これを活用することで、さまざまな知的作業のプロセスが一変し得る。



科学技術振興機構(JST)研究開発戦略センターフェロー(システム・情報科学技術ユニット) 福島 俊一

東京大学理学部物理学科卒、NECにて自然言語処理・情報検索の研究開発に従事後、2016年から現職。工学博士。11-13年東大大学院情報理工学研究所客員教授、情報処理学会フェロー。

# 次世代AIさらなる進化

問離れした人工知能(AI)だと言えらる。問離れした人工知能く回答を出す、必ずしも意味・常識は理解できておらず、もっとうる。

AI研究は元来、人の知能を理解・解明したいという動機を返すことがある。

## 人との親和性

のは、人が一生かかっても読めない量の情報を学習した「基盤モデル」を学習した「基盤モデル」の消費エネルギーは、

一方で、人の知能に関する理解の進展とそれ

もう一つは乳児・幼児の成長過程における

開発が進められてい

(金曜日掲載)

3種類の知能モデル比較			
	基盤モデル	二重過程モデル	発達・創発モデル
中心的モデル	深層ニューラルネットの大規模学習	即応的システム1と熟考的システム2で構成	外部との相互作用における誤差最小化
関連研究分野	ニューラルネット、機械学習、計算機科学	心理学、行動経済学、脳科学	認知発達・記号創発ロボティクス
人にあてはめると	人が一生かかっても読めない量の情報を学習	大人の思考・意思決定パターン	乳児・幼児の発達・成長過程

うに学習していく予測する。誤差最小化が基本原理として注目されている。人間離れした基盤モデルの発展だけでなく、人と親和性の高い知能モデルとの融合が、次世代AIの方向性として注目される。